

あいち木造 ミーティング 2021

2021. 12. 17 (Fri)
14:00~16:30

会場：Zoom セミナー

参加費：会員・学生無料、一般 1,000 円
(指定口座までお振込)

- 趣旨説明 14:00~14:10
谷口元 名古屋大学名誉教授
- 基調講演 14:10~14:50
速水 亨 氏 速水林業代表
「これからの林業」
- 講演 1 14:50~15:10
鍋田 拓哉 氏 愛知県農林基盤局森林保全課
「地元材を活用する為には」
- 講演 2 15:10~15:30
山田 政和 氏 豊田森林組合
「組合側から見た地元材の活用方法は」
- ディスカッション 15:35~16:20
上記登壇者 進行：谷口元 名古屋大学名誉教授
東海林修 東海林建築設計事務所
- 全体まとめ 16:20~16:30
清水 秀丸 椋山女学園大学

参加申込メール：kiainokai@gmail.com

木愛の会世話人(事務局長) 石田 富男
〒460-0008 名古屋市中区栄 5-1-32
久屋ワイエスビル 8F (株)都市研究所スペースア

指定振込先口座：三菱東京UFJ銀行上飯田支店
普通 4636840 木愛の会 代表世話人 清水秀丸

テーマ

「ウッド・ショックを超えて、進むべき道は。」

—地元から、県から、そして国から
と各単位から見える道—

●企画の概要

この度全世界を襲ったコロナ禍は、現代社会が未知の脅威に対して脆弱な状況にあるかを知らしめることになった。このような禍に対してどのように対処するべきかという観点では、現代社会が作り上げてきた社会的システムそのものを換えていくべきという、機会を与えてくれたと思われる。

資源の乏しい我が国は、加工貿易の観点で産業の成長発展を遂げていたし、農業、漁業、果ては IT 産業、エネルギーに至るまで自給率が極端に低下した状況での経済的発展を優先し承認してきた。

ウッドショックと言われるこの度の社会現象は、コロナ禍を克服したといわれる合衆国や中国の建設需要の増大が、輸入に頼る国々への供給不足と流通の停滞、内外の材料価格高騰を招いた。

本会は「循環型社会を目指し、『木造都市』を実現する」という趣旨を継承発展していく立場から、森を護り育成しながら森林業を営んできた、三重県紀北町速水林業の速水亨氏に基調講演をお願いし、また都市近郊の林業経営の健全化を模索されている山田政和氏と鍋田拓哉氏をお招きし、木にかかわる仕事を生業とする我々は、どのように考え、活動していくべきかを話し合いたい。

日本を代表する林業家の速水亨さんは三重県海山町で江戸時代から続く速水林業の9代目代表です。林業経営は「どんな森にするかのイメージが大事」と話し、100年先の森を育てる事を考え、循環を前提に人工林の管理を行っている。林業のこれからのあるべき姿のお話をして頂きます。



鍋田拓哉さんは県農林基盤局森林保全課の県職員です。前任の県林務課からも含め、長年愛知県の森林や木材利用についての業務に携わってきました。今回はそのご経験から県の林業の現状とこれからの展望をお話して頂きます。



山田政和さんは豊田森林組合の職員です。組合活動と共に地元豊田市の木材を加工しての玩具や遊具の製作を手掛け、最近では自然の恵みを生かす活動を行っています。地域の山の現状から今後の地元の山の姿についてお話して頂きます。



主催：木造都市研究会 **木愛の会**